株式会社日本バイアウト研究所

Japan Private Equity Conference
『機関投資家のためのプライベート・エクイティ』
出版記念シンポジウムのご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、2013 年 1 月に株式会社きんざいから刊行されます『機関投資家のためのプライベート・エクイティ』の出版を記念して、Japan Private Equity Conference を開催することになりましたのでご案内させて頂きます。

本シンポジウムでは、注目度が高まりつつあるプライベート・エクイティ・ファンドの真髄に迫ります。日本を代表するプライベート・エクイティ・ファームのプロフェッショナルにより、投資戦略別（バイアウト、ベンチャー、グロース、メザニン、セカンダリー）の特徴や将来展望に関する討論が行われます。また、既にプライベート・エクイティ・ファンドへの投資を行っている機関投資家をお迎えし、運用資産としての魅力や投資実務のあり方についての討論を行うことを予定しています。年金基金、大手銀行、信託銀行、地方銀行、証券会社、生命保険会社、損害保険会社、ノンバンク、投資顧問会社などで資産運用に携わっている方々やプライベート・エクイティ実務に携わっているプロフェッショナルの方々にご参加賜れれば幸いです。

開催要領

【日時】
2013 年 1 月 29 日（火）13:25～18:40（13:00 受付開始）

【場所】
大手町サンケイプラザ 4 階ホール

【参加費】
1 名 25,000 円（税込）　2 名 45,000 円（税込）　3 名 65,000 円（税込）

【主な参加対象】
・年金基金、大手銀行、信託銀行、地方銀行、証券会社、生命保険会社、損害保険会社、ノンバンク、投資顧問会社などの機関投資家
・プライベート・エクイティ・ファーム（バイアウト、ベンチャー、グロース、メザニン、セカンダリー、その他）
・ファンド・オブ・ファンズ、プレースメント・エージェント、ゲートキーパー、年金コンサルタント、アドバイザリー・ファームなど

【お申し込み方法】
申込書での FAX 送信か Web サイト上（http://www.jbo-research.com/）で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

Lead sponsors

CapitalDynamics　西村あさひ法律事務所 NISHIMURA&ASAHI　エー・アイ・キャピタル株式会社 AIC Alternative Investment Capital Limited

Co-sponsors

ANT CAPITAL PARTNERS　GLOBIS CAPITAL PARTNERS　Growth Initiative
THE CARLYLE GROUP　MCo MEZZANINE CORPORATION　MIZUHO みずほキャピタルパートナーズ　JAIC 日本アジア投資株式会社
POLARIS　三井住友トラスト・キャピタル SUMITOMO MITSUI TRUST CAPITAL　東京海上キャピタル株式会社 TOKIO MARINE CAPITAL CO., LTD.　CLSA CAPITAL PARTNERS
NEXT ネクスト・キャピタル・パートナーズ　INTEGRAL　フェニックス・キャピタル株式会社 Phoenix Capital Co., Ltd.　KPMG cutting through complexity

主催：株式会社日本バイアウト研究所　協力：株式会社きんざい
URL：http://www.jbo-research.com/
【お問い合わせ先】jbori@jbo-research.com（担当：杉浦）

Japan Private Equity Conference プログラム

受付開始（13:00）

刊行の背景・内容紹介（13:25-13:35）
株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

基調講演（13:35-14:15）
テーマ: プライベート・エクイティ・ファンドへの投資に係る法律上の留意点
講演者　西村あさひ法律事務所 弁護士 五十嵐誠氏

＜概要＞
プライベート・エクイティ・ファンド（特に投資事業有限責任組合をビークルとする場合）に関して、ファンドに出資する投資家の視点から、留意すべき仕組みや法律上の問題点、特に投資家の責任範囲、運用開始後（追加クロージング）での参加、クローバック条項、セカンダリーでの持分売却、キャピタルコールに応じられない場合の措置、キーマン条項発動等の論点について解説する。

第一セッション（14:15-14:55）
テーマ: プライベート・エクイティにおけるセカンダリー市場の役割と機関投資家にとっての意義
討論者　アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 マネージングパートナー 佐村礼二郎氏
日本アジア投資株式会社 前取締役会長 松本守祥氏
司会者　エー・アイ・キャピタル株式会社 代表取締役社長 清水達平氏

＜概要＞
プライベート・エクイティにおけるセカンダリー市場は、プライマリー市場の成長に合わせてその存在感、役割を増してきている。本セッションにおいては、セカンダリー・ファンドの魅力・特徴についての解説を挿みながら、市場の変遷や日本と海外市場との比較にも触れ、機関投資家にとっての投資意義について考える。また、セカンダリー市場においては、既存の株主（ファンド等）からダイレクトに投資先企業の株式を買い受ける戦略もあり、パネリストの方から、その戦略と意義についての解説を頂く。

休憩（14:55-15:10）

第二セッション（15:10-16:00）
テーマ: メザニン・ファンドの魅力とリスク・リターンの考え方
討論者　株式会社メザニン エグゼクティブディレクター 松野修氏
みずほキャピタルパートナーズ株式会社 マネージング・ディレクター 宮崎直氏
三井住友トラスト・キャピタル株式会社 常務取締役 石井誠氏
司会者　エー・アイ・キャピタル株式会社 ディレクター 漆谷淳氏

＜概要＞
近年、機関投資家（特に年金基金）の間でメザニン・ファンドへの注目が高まっている。本セッションにおいては、この注目の背景を探るとともに、そもそもメザニン・ファンドの特徴・魅力は何かという点について、投資家サイドの視点のみならず、投資先企業のニーズの視点からも、具体的なケース・スタディを織り交ぜながら展開する。また、メザニン・ファンドと他のプライベート・エクイティ分野のファンド投資との違いにも焦点をあて、市場動向や求められるスキル、GP サイドから見たリスク・リターンの考え方などについても触れる。

コーヒーブレイク（16:00-16:25）

第三セッション（16:25-17:25）
テーマ: バイアウト、グロース・キャピタル、ベンチャー・キャピタルのバリュー・クリエーション
討論者　グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 マネージング・パートナー 仮屋薗聡一氏
株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役 吉崎浩一郎氏
カーライル・ジャパン・エルエルシー マネージング ディレクター 日本共同代表 山田和広氏
ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 パートナー 密田英夫氏
司会者　キャピタル・ダイナミックス株式会社 代表取締役社長 小林和成氏

＜概要＞
機関投資家がプライベート・エクイティ・ファンドへ投資を行う理由の一つにファンド・マネジャーによる価値創造に基づくいわゆるアルファの獲得がある。本セッションでは、プライベート・エクイティの代表的な戦略であるバイアウト、グロース・キャピタル、ベンチャー・キャピタルのそれぞれにおいて、それらの分野で日本を代表するプレーヤー4 社を招き、どのように投資先企業の価値創造を行っているかを、プライベート・エクイティの歴史の長い欧米のファンドとの比較や過去の具体的なケース・スタディを交えて議論・検証する。

姉妹本の紹介（17:25-17:35）
キャピタル・ダイナミックス株式会社 代表取締役社長 小林和成氏

休憩（17:35-17:50）

第四セッション（17:50-18:40）
テーマ: プライベート・エクイティを中心とした非流動資産投資の魅力と将来展望～機関投資家の視点から～
討論者　大同生命保険株式会社 市場投資部 プライベート・エクイティ投資課長 山村一郎氏
株式会社日本政策投資銀行 資金運用グループ ファンド投資班 調査役 富田康之氏
DIC 企業年金基金 運用執行理事 近藤英男氏
司会者　元 帝京大学経済学部 教授 茂木敬司氏

＜概要＞
機関投資家（銀行、保険会社、年金基金）にとってプライベート・エクイティ・ファンド（バイアウト、ベンチャー、グロース、メザニン、セカンダリー、その他）は運用資産としてどのような魅力があるのかを語る。また、プライベート・エクイティ・ファンドへの投資を行う組織の確立や投資実務のあり方についての討論を行った上で、プライベート・エクイティ・ファンドの将来展望についても議論する。

＊本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。

日本バイアウト研究所のカンファレンスについて

日本バイアウト研究所では、プライベート・エクイティ（主にバイアウト）に関与している実務家、金融機関、事業法人の皆様に有益な情報を発信するために、カンファレンスの企画・開催を行っております。

近年は、特に、日本企業の海外進出におけるバイアウト・ファンドの戦略的活用、後継者問題を抱える中堅・中小のオーナー企業の事業承継、大企業の事業再編に伴う子会社の戦略的売却、上場企業の戦略的非上場化、メザニン・ファイナンスによる資金調達、プロフェッショナル経営者・プロフェッショナル CFO の育成などのテーマでの情報発信に力を入れております。

2011 年 4 月 6 日（水）に東京で開催しました Japan Buy-out Deal Conference 2011 では、震災直後にもかかわらず、約 240 名の参加があり、盛会裏に終了致しました。

今後は、地方銀行や年金基金の皆様にも、バイアウト・ファンドの理解を深めて頂く機会をご提供できればと思います。

Japan Buy-out Deal Conference 2011 の会場の様子

☆参加者からの声☆

・国内のミッド･スモールマーケットを代表する GP の方々の投資理念や投資先企業の生の声を一度に聞けるよい機会となった。
・ファンドと投資先の良好な関係構築が双方にとって如何に重要かということがよく理解できた。
・経営者とともに真摯にハンズオンに取り組むファンド担当者の姿勢が印象的だった。
・バイアウト・ファンドの担当者の人柄などを見聞きすることができて非常に有意義だった。

新刊『機関投資家のためのプライベート・エクイティ』のご紹介

本書は、機関投資家の視点からプライベート・エクイティ・ファンドについて論じた日本初の本格的な専門書。日本の有力機関投資家へのインタビューも実施し、プライベート・エクイティ・ファンドの魅力や投資の際の留意点について解説。

機関投資家のためのプライベート・エクイティ

編者: 日本バイアウト研究所
刊行日: 2013 年 1 月末予定
仕様: A5 判・約 460 頁・上製
定価: 3,780 円（本体 3,600 円）
発行所: きんざい

第Ⅰ部　基礎編
・機関投資家の視点から見たプライベート・エクイティ・ファンドの特徴と仕組みについて分かりやすく解説。
・投資戦略別（バイアウト、ベンチャー、グロース、メザニン、セカンダリー）の特徴と魅力について詳細に解説。

第Ⅱ部　応用編
・年金基金によるプライベート・エクイティ・ファンドへの投資アプローチと留意点について解説。
・機関投資家によるプライベート・エクイティ投資プログラムの確立と投資実務について経験者が解説。

主な読者層

日本の年金基金、大手銀行、信託銀行、地方銀行、証券会社、生命保険会社、損害保険会社、ノンバンク、投資顧問会社などの資産運用担当者。プライベート・エクイティ・ファーム、ファンド・オブ・ファンズ、プレースメント・エージェント、ゲートキーパー、年金コンサルタントなど。

☆カンファレンス会場でも販売致します。

株式会社日本バイアウト研究所

日本におけるバイアウトを中心とする投資ファンド専門の研究機関。学術的な視点も兼ね備えた完全独立系のシンクタンクとして、中立的な立場から日本のバイアウト市場の調査・分析を行い、バイアウトに関する出版物の刊行・販売、セミナー・カンファレンスの企画・開催、同分野に関する調査・コンサルティングの受託を行っている。具体的には、日本のバイアウト市場の統計データを定期的に公表し、専門誌『日本バイアウト市場年鑑』の刊行、Japan Buy-out Deal Conference などのカンファレンスの開催、官公庁からの委託調査の受託、各種の講演・セミナーなどを手掛けている。

代表者: 代表取締役 杉浦慶一
URL: http://www.jbo-research.com/